

【千葉地域】平成30年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

設置場所	市原市	品種	夢あおば
土性	壤質土	播種日	4月21日
播種量	220g/箱	移植日	5月11日
幼穂形成期	7月2日	出穂期	7月23日
成熟期	9月8日	収穫日	9月21日

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	84cm	穂長	23cm
穂数	299本/m ²	倒伏程度	0
粗玄米重	662kg/10a	標準単収値	517kg/10a

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：鶏糞
- ・施用量：500kg/10a
- ・施用時期：平成30年2月

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：7.0kg/10a ※肥料銘柄：オール14
 - ・(追肥) N量：1.4kg/10a ※肥料銘柄：オール14
- 追肥実施日：7月3日

(3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月11日

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：42株/坪
- ・植付本数(4~6本/株を推奨)：4.1本/株

4 考察等

栽培管理のポイントに基づいた管理を実施し、高い収量を得ることができた。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	9kg/10a(壤質土の場合)
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します